



# 委員会紹介

## 総務委員会



総務委員会は総務6名で構成しております。主な業務である総会・役員会の開催に加え、新卒・役員会議を開催しております。

また本会会長の御めいたYEGとの協働・思いやり共創委員会・委員会・ブロック代表理事会の各会議室をホームページ上に掲載いたします。併せてホームページの運用や各種名簿等の管理に関する規約も制定いたします。重要な事項として、掲載が終了している掲載会（新卒・後援者等育成事業）に関する調査・情報収集を行いホームページ上にて提供させていただきます。なお、私生活等に関する事項は調査票を添付しておりますので、情報のご提供をより、くお願いいたします。これは各各種会議資料の電子化に関する提案をさせていただきます。

最後に今後の新卒者のあり方について、委員会メンバーが全国各ブロックの役員会・指導者から新卒者に対する助言やアドバイスを、新卒者や今後の方向性を提示してまいりますのでご意見をぜひご意見をぜひお寄せください。

今後とも各委員会に対し、ご指導・ご鞭撻をより多くお願いいたします。

## 企画委員会



私たちは企画委員会は、大福副会長のご指導のもと7名のメンバーで活動しています。活動の内容は、新卒者主体の大会である全国大会、全国会長研修会の成功をお手伝いします。なんと、新卒者の中には、もともと提携の大会を、そして会員の皆様の方々に新卒者を体験して頂くことが出来る重要な大会です。主催される各役員・理事の皆さんの思い、主催者である新卒者の方針がより「コア」な内容であるべき、大会となるよう統一して活動していきたいと思っております。もちろん今年度の大会だけでなく、翌年・翌々年の大会に関する期間中や日程の決定、基本コンセプトの確立など活動内容は結構多岐にわたります。

また、今年度からブロック大会の役員選考などもお取り扱いすることになりました。各ブロック大会には大福副会長・企画委員が気合を入れて参加いたしますのでどうぞよろしくお願い致します。

## 広報委員会



現在、広報委員会では、ホームページの逐次更新と、「読者」の採用作成に奮闘しております。今までは利用種数が少なかったホームページ・掲載を全国のメンバーの集約とするご目標に、13あるブロックのホームページを連携してご紹介しております。

13年度開始から14年1月・2月迄各ブロックから合計10月間、委員会メンバーが手探りでいろいろの位置を模索してまいりました。その企画は、以下の通りです。

1. 各ブロックのホームページの連携を模索してご紹介しております。
2. ホームページの利用種数を高めるために、各種大会の開催情報や、セミナーの開催を先行して内容を充実させている。

またホームページに全国の新卒イベントを掲載し、新卒者の募集を始める一助となる。広報の推進は、掲載するサイトも多いため、記事も多し、ホームページと連携させていく。上記の企画を行って、いかに、全国のメンバーの関心とご支援をお願いして委員会報告と致します。

## 研修委員会



研修委員会のメンバーは、副副会長以下7名という、新卒者の委員会の中で一番少ない人数で活動しています。しかし、少数精鋭という言葉がぴったりの責任感のあるメンバーで、委員会も各ブロックで内容のある、すばらしい企画、運営をしております。当委員会の担当している「読者」と「ヤングリーダー」研修の2つの大きな事業は、全国3万人の一般公募で集まってきた研修者です。それゆえに内容も魅力的である大会に企画することが絶対条件といえるので、たいへんメンバーの熱意と知恵が注ぎ込まれています。

しかし、そんなことをやっていながら、すでに「読者」は思いがけずおさがりづらいという悩みがありがたかったが、なんとおさがりすることができました。成功か失敗かは事業に参加していた研修生に決めていただくとして、結果に事変なく運営できたことに満足しています。思いがけず半年間の研修を楽しみにしていただき、いま、後援委員会メンバーは、次なる事業「ヤングリーダー」の企画に取り組みしています。「参加してよかった」と言ってもらえるように、準備していった先のことでも多くのYEGメンバーの参加とお待ちしております。

# ブロック紹介

## 役員紹介



■ 会長  
有橋 純造  
(東京都)



■ 副会長  
加城 拓史  
(北海道)



■ 総務  
千葉 富士夫  
(宮城県)



■ 相談役  
吉本 博次  
(奈良県)



■ 相談役  
北島 重利  
(徳島県)

## 北海道ブロック



■ 会長  
国枝 素二 (北海道)

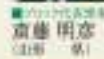


■ 副会長  
大橋 裕明  
(北海道)

## 東北ブロック



■ 会長  
鈴木 順三 (宮城県)  
藤崎 忠邦 (青森県)  
佐藤 利明 (岩手県)  
高橋 茂 (秋田県)  
阿部 幹雄 (山形県)  
西村 修 (福島県)



■ 副会長  
宮藤 明彦  
(山形県)

## 北陸信越ブロック



■ 会長  
山ノ下 武志 (富山県)  
松本 仁 (石川県)  
野澤 真人 (長野県)



■ 副会長  
鈴木 啓富  
(新潟県)

## 関東ブロック



■ 会長  
宮田 豊和 (茨城県)  
宮川 吉昭 (群馬県)  
安藤 秀男 (埼玉県)  
関 学 (千葉県)  
鈴木 郁介 (神奈川県)  
渡部 廣弘 (静岡県)



■ 副会長  
芝 博明  
(東京都)

## 東海ブロック



■ 会長  
大西 一司 (岐阜県)  
笠間 清 (三重県)  
山本 和正 (静岡県)



■ 副会長  
原田 隆司  
(愛知県)

## 近畿ブロック



■ 会長  
金 央信 (滋賀県)  
竹原 繁明 (京都府)  
岩崎 進彦 (大阪府)  
木下一成 (兵庫県)  
水本 和真 (奈良県)  
山岸 寛士 (和歌山県)  
西岡 基博 (徳島県)

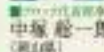


■ 副会長  
杉本 登  
(和歌山県)

## 中国ブロック



■ 会長  
清水 雅文 (高知県)  
渡部 哲弘 (高知県)  
仁田 一郎 (広島県)  
光永 武 (山口県)

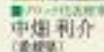


■ 副会長  
中塚 勉一郎  
(岡山県)

## 四国ブロック



■ 会長  
原田 和典 (徳島県)  
山下 仁規 (高知県)  
味本 豊 (高知県)  
越智 英俊 (愛媛県)



■ 副会長  
中畑 利介  
(愛媛県)

## 九州ブロック



■ 会長  
上田 崇仁 (佐賀県)  
木村 寿宏 (熊本県)  
河野 巧 (大分県)  
水澤 高樹 (福岡県)  
松下一郎 (鹿児島県)  
新里 建二 (沖縄県)  
宗野 和博 (福岡県)



■ 副会長  
崎 達郎  
(佐賀県)

# アントレプレナーズ委員会紹介

新世紀！  
起業家精神が日本を変える価値と感動  
そして共感を地域社会へ！

アントレプレナーズ委員会委員長  
越智 英俊 会長 越智 直三

平成13年度アントレプレナーズ委員会は、「新世紀！起業家精神が日本を変える価値と感動」として、多岐にわたる活動を行いました。全国からの公益活動の方々と合わせ、6部会として活動を展開してまいりました。

21世紀はグローバルな時代と認識されています。又、今までの経営の原則が通用しない時代とももたれています。IT・インターネットの発展のスピードは驚異的であり、これによって従来のビジネスモデルも大きく変わっています。今後は、IT時代を生き抜く術として、本委員会が「アントレプレナーズ委員会」を創設し、活動してまいりました。

「夢」「目標」や「ビジョン」を持つて仕事をしているか

「アントレプレナーズ委員会」は、夢や目標を持つて仕事をしているか、というテーマで、平成13年度「夢や目標」をテーマとしたセミナーを開催しました。このセミナーでは、夢や目標を持つて仕事をしているか、というテーマで、平成13年度「夢や目標」をテーマとしたセミナーを開催しました。



「超プラス思考」の  
起業家マインド

私生活では、超プラス思考の考え方を、仕事でも実践してまいりました。超プラス思考の考え方は、仕事でも実践してまいりました。

「超プラス思考」の起業家マインド。私生活では、超プラス思考の考え方を、仕事でも実践してまいりました。超プラス思考の考え方は、仕事でも実践してまいりました。

自立想像型の相互支援

今年度、自立想像型の相互支援の活動を行いました。今年度、自立想像型の相互支援の活動を行いました。

起業家精神と  
自立想像型の相互支援

今年度、自立想像型の相互支援の活動を行いました。今年度、自立想像型の相互支援の活動を行いました。

今年度、自立想像型の相互支援の活動を行いました。今年度、自立想像型の相互支援の活動を行いました。

## 部会紹介

平成13年度アントレプレナーズ委員会は6部会で構成されています。

### ニュービジネス交流部会

お菓子屋さん、お惣菜さん、お漬物メーカー、ソフト会社、コックシーターさん等々、多岐にわたるメンバーが参加し、ワイワイガヤガヤしています。お互いの会社や事業を知ってもらうことから始まり、今ある技術や商品を全く異なる業種の人とのヒントやアイデアを出してもらっています。ある時は他人へのアドバイス、またある時は互いのアドバイスを求める場になります。協力から技術へと発展することもあります。

そうした中から全く新しい発想の商品が生まれることもあるのです。今回は、ビジネスシート(自社商品の紹介書)とメンターシート(アドバイス書)を使い、自由にディスカッションしていただくビジネスの可能性を探ります。

こうした機会を部会から役員会へ、そして地域YEGへと広げていきたいと思っています。チャンスは創造の達人全員にあります。

### 中心市街地活性化部会

中心市街地活性化部会はTMO(Town Management Organization)としてYEGが中心となり、地域の活性化を図るべく研究活動を続けてまいりました。平成13年にスタートしましたこの部会は、今年も引き続き、いよいよその成果を出すべく年間プランを立てて活動しています。

部会では1年目「TMOが何をやるか」、2年目「YEGがTMOで変わる」というテーマで調査研究をしてまいりました。結果、YEGの認知度が3-4%と以外に低く、創成制度もTMO専らにはあるがそれを推進する組織には無いなど、事業自体が後まわりの理由を把握する事ができました。今年はいよいよ「YEGが何をやるか」をテーマとし、アンケート調査を行い、YEGの意識改革を促しています。

年度末には調査の結果が判り、皆さんに理解しやすいTMOとして報告ができるかと考えています。一人一人、そして各YEGの努力が成果を築いていきます。

### 地域振興NPO推進部会

NPOは、国や地方自治体等の公的機関ではなく民間であること、また、企業のように利潤追求をせず、広い意味での社会的使命に依りて公益的な活動を行うものです。そのNPOが事業の創出、事業展開の担い手として注目されています。NPO推進部会には、群馬県伊勢崎市内にあるNPO法人「環境ネットワーク」の代表者や理事さんなどがおられますので、これまで、設立までのプロセスや様々な取り組みについて説明頂き、メンバーの知識のレベルアップをはかっています。また、参加者自身も自らNPOと提携するYEGメンバーの参加も促し、NPOの魅力を伝える活動を行っています。YEGとの関わり方やNPOの手法の有効性を確認しました。特に、行政がNPOを支援しようとしているのか、行政側から見たNPOの役割や必要性を確認したいと思っています。

今後の方向性として「環境ネットワーク」をきっかけにNPOの手法を取り入れたというYEGには、これから出向いてNPOに関する情報提供、促進の支援、コンサルティング等を行ってみたいと思っています。一歩ずつ進んでいきます。

### ベンチャービジネス部会

ベンチャー(起業家)としての素質向上のため、全国各地より部会に集まるが、各個人の表現、地域事情の違いから、共通の題材がなかなか決められずスタートが遅れています。しかし、高層でベンチャーを創出する意味、YEGだからこそ考えられること、各地域に誇りを持って取り組む内容等を考えたとき、やはりネットワーク、交流と共生がテーマにしたいと考えています。

現在取り組んでいる「コミュニケーションネットワーク構築」は、中央集約的の従来のネットワークと違い、地域が主体のネットワーク構築、地域の情報ポイントという形で地域に還元するネットワークの構築を目指しています。

この部会を通じては、会うことが出来た仲間との交流やそれぞれの地域で見聞した事は、今後の自然企業や地域の活性化に多くの学び、ヒントをもたらしてくれると期待しています。

### インターネット情報ビジネス部会

長年、インターネット情報ビジネス部会は、昨年より続けて、IT、インターネットビジネス情報に関する幅広い分野から、SEOやマーケティング等のインターネットを駆使したビジネスの企業及び高層化、全国3万人の青年部長への情報発信を続けています。

特に今年度は、意見の交換、アイデアの提案、討論という広域的なコミュニケーションが、インターネット上で可能になるグループウェアソフトを、部会内で試用して、IT部会全体のネットワークを確立し、積極的に青年部長3万人のネットワークの構築を目指しています。さらに、そのネットワーク上で、BtoBの構築のための方法やIT導入、電子取引等に関してネット上で意見交換し、インターネットが活用できれば自分に、自社にそして青年部長に活かせるの提案をし、実現していきたいと思っています。

### 環境ビジネス部会

環境ビジネス部会は、11人でスタート、アンブレの中でも少人数部会です。しかし、人数が少ない分、話がまとまるのも早く、比較的ある部会です。

まずは、この部会をどのような方向で進めていくか話し合い、その中で環境問題に関与する方法として、「すべてをビジネスに結びつけて考えること」が、これからは必要になってくる。この意見の一致を得ることが出来た。そこで、部会としての活動方法も環境問題の解決の中から、ビジネスに展開していくことにより、環境問題とせめても関係するものを提供し、その内容や問題点を調査研究する事と、ビジネス展開の手法は決める事に決めた。

YEGメンバーとしては、調子業者の本分を忘れることなく、色々な人との出会いのチャンスと、仲間とビジネスに結び付けるべきだと考えておられます。



Symbol Logomark

第21回商工会議所青年部全国大会

2001年11月

8木 9金

# 小田原箱根大会開催

2001年11月8日(木)9日(金)

全国大会小田原箱根大会が開催された。  
全国357単会から3,568名に参加いただき、  
ご縁満開に感謝!

去る十一月八日九日、全国大会小田原箱根大会、全国三五七単会から三五六八名という多くのYをむかひの箱根のYを参加いただき、無事開催させていただきましたことを、まずは心より御礼を申し上げます。

大したおもてなしもありません。また、至らぬことばかりで、大会会長の力不足と心苦しく存じます。それでも、何となくここまで運営できたのは、いろいろな力があつたという感謝の気持ちで、お礼を申し上げます。

新しい時代には新しい全国大会を！  
キーワードは「変革」と「連携」「実践」「リアル」

「全国大会をやらせてください」と手を挙げてから七年が経りました。メンバーも世代交代をし、時代も変わりました。商売を取り巻く環境はよりいっそう厳しくなっています。私たち商連人はよりよい商売の自己変革が求められています。

そんな中で迎える二十一世紀最初の全国大会、「新しい時代には新しい全国大会を」という思いで、商連者が日商の歌歌に載せた最初のこの記念すべき時に、商連人の集まりである我がYEGの原点を見直し、「変革」のキーワードを念頭に、古巣会長が掲げられたスローガンの「実践」「実践」「リアル」のキーワードを形にすべくYEGに設立して新しい全国大会を目指しました。「あなたたちは新しいYEGを創る仲間と出逢います。出会いとともに、あなたの商売に役立つヒントが見つかります。YEGの良であることの素晴らしさを実感していただきます。そして、宝物にならないたくとのお土産とともに二十一世紀への元気を差し上げます。あなたが主催の全国大会です。」そんな大会を目指しました。

合言葉は「ご縁満開」  
ハイテックハイタッチなおもてなし

「ご縁満開」を合言葉に掲げ、地元メンバー二五〇名による「お世話書」やYEGを応援した「新しいお世話書」というハイテクのハイタッチをおもてなしの新しい試みにもチャレンジさせていたいただきました。単に大会当日だけを全国大会と捉えるのではなく、事前も事後も含めた企画とし、大会が始まる前からのご縁取り、大会中での自分なりの情報提供を通して、参加者同士には目的意識を持って小田原箱根の地に来ていただけるようにしたいです。主催YEGと全国からの参加者YEGとの間に「縁」を、そして、全国のYEGとお互いの出会いの場を提供したい。そして大会当日は、田舎の友に会おうかと、その二種が大会前日「縁」を繋ぎたいことを希望する。

また、演説に役立った大会というところで、ビジネス交流プログラムをついて縁満開。小田原箱根YEGのビジネスフォーラム(2)と

始打つて、本大会のメインイベントと位置づけました。ワタタミの渡邊社長の夢に日々向け、「河野太郎の流通博覧会」(二)「ガリガリアン」(三)「八咫金の野口誠」(四)「いんや」(五)「ミッドランド」の福島正樹、NPO・M&Aなどならハリエター、豊かな知識の皆様にによる講演会とセミナーを企画するもよし。六〇を超えも全国からのYEGと内外の企業ブームを覗いて、商談をするもよし。ブレインセッションを開くもよし。新しい友人とつながりもよし。という企画でした。箱根に役立つ気持も、情報ビジネスイベントのチャンスを見つけていただけましたか。お世話書、お世話書のしつこくを過ぎて知り合ったまだ会わぬYEG仲間との出会いの場になりましたか。

初日の最後は、大徳観音と温泉旅館での別荘、神奈川のうまいものを食べ、箱根ならでもおもてなしと準備しました。いがいがでしたでしょうか。温泉の湯気はいかがでしたでしょうか。

日が変わつて二日目、元氣溢れる記念式典は、全国から一堂に会するYEG会員の一体感と来賓の方々を通じてのYEGの外郭へのPRの場になったのではと手前味噌ながら思いました。

記念講演では、講師をお願いしておりました樋口敏の発痛というアクションで促されました。しかし、多くの方々のお力添えのおかげで、近藤雅也のお話することができました。セラトショップ、小田原の西島街との連携した「YEGまちおこし」物産展でも多くのYEGの友達が花開いたようです。出席してくださったYEGの皆様、ありがとうございました。

ここにYEGという素晴らしい集まりがあり、手を差し伸べれば振り返してくれる素晴らしい仲間がいる！

大会が開催された今、思いの何分かが形にできたのだろうかと思っております。しかし、はつきりと確信できたことは、「ここにYEGという素晴らしい集まりがあり、手を差し伸べれば振り返ってくれる素晴らしい仲間がいる」ということです。大会の閉幕は終わりではなく、全国YEGの首脳はじめこの大会に出るおんな立派で関わってくれた人々にとつて例年の始まりでありたいと、ひたすら念じています。満開の縁が、次には大きな夢を結びくれることを祈っております。

初夜でもよい思い出を積み重ね、「ありがとうございました」またお会いできる日の夢からゆめ(ご縁)を紡ぎたい。

● 小田原市長、小田原YEGの傍には本宮に  
よく来てくれました。この場で身内を  
学べるのは甚だ嬉しいとは思っていま  
すが、二日ばかりを回らせてください。



●「ご縁満開」(小田原市長)の演説



●次年度大会の開催



●又原市長の演説の様子



●県民会館での懇話会



●大田原市長の挨拶



# 塾 生 翔



▲第2回世界貿易工団連会大会のポスター

## 平成十三年六月六日出発、「韓国ツアー」 翔生塾「韓国ツアー」

写真と文 ● 経団連委員会 新里建二

### 六月六日

平成十三年六月六日、上野五反田駅前飛行場にて「翔生塾」を代表する約30名が、韓国訪問団として、仁川国際空港へ出発した。この日は、韓国の「仁川」に到着した。仁川は、韓国の重要都市の一つで、仁川国際空港がある。この空港は、韓国の主要な国際空港の一つであり、多くの国際線が飛来している。この日は、訪問団の一行は、仁川国際空港から、韓国の主要都市の一つである、ソウルへと向かった。ソウルは、韓国の首都であり、多くの国際企業の本拠地となっている。この日は、訪問団の一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。

### 六月七日

六月七日、訪問団一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。この日は、訪問団の一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。この日は、訪問団の一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。



▲2001年7月10日、新里建二氏

訪問団一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。この日は、訪問団の一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。この日は、訪問団の一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。



▲2001年7月10日、訪問団一行

### 六月八日

六月八日、訪問団一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。この日は、訪問団の一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。

▲日本経済団体連合会（経団連）と韓国貿易工団連会（KCCI）の懇話会



▲2001年7月10日、小泉純一郎首相

六月八日、訪問団一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。この日は、訪問団の一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。

六月八日、訪問団一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。この日は、訪問団の一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。

### 六月九日

六月九日、訪問団一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。この日は、訪問団の一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。



▲2001年7月10日、日本商工会議所（日経連）との懇話会

六月九日、訪問団一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。この日は、訪問団の一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。

六月九日、訪問団一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。この日は、訪問団の一行は、ソウル市内を観光し、韓国の文化や歴史を学ぶことになった。



▲2001年7月10日、訪問団一行

# ヤングリーダー研修



●平成13年10月18日  
 場所 ●京都  
 (ホテルグランドパリア京都)  
 研修生数 ●425名

文●研修委員会 木下一成



▲研修委員長

平成十三年十月十八日、京都の森ホテルグランドパリアで第13期ヤングリーダー研修会が自国産四百二十名を擁して開催されました。この研修会は、YEGの発展と、若者の成長を目的として、研修委員長(木下一成)が、研修生に語りかけ、研修会を進行させました。

研修会には、三浦博之が、第二部(時代)として、若者の成長を目的として、研修生に語りかけ、研修会を進行させました。また、三浦博之が、第二部(時代)として、若者の成長を目的として、研修生に語りかけ、研修会を進行させました。また、三浦博之が、第二部(時代)として、若者の成長を目的として、研修生に語りかけ、研修会を進行させました。

▲講師の一人、三浦博之



研修会には、三浦博之が、第二部(時代)として、若者の成長を目的として、研修生に語りかけ、研修会を進行させました。また、三浦博之が、第二部(時代)として、若者の成長を目的として、研修生に語りかけ、研修会を進行させました。

しほりする。と言われ、その言葉は自分自身に言いかけた言葉であるように聞こえてくる。また、「二つ眼」の言葉は、自分自身に言いかけた言葉である。また、「二つ眼」の言葉は、自分自身に言いかけた言葉である。



▲講師の一人、三浦博之

この言葉は現代に於ける若者にとって、重要なメッセージである。また、この言葉は、若者にとって、重要なメッセージである。

研修会には、三浦博之が、第二部(時代)として、若者の成長を目的として、研修生に語りかけ、研修会を進行させました。また、三浦博之が、第二部(時代)として、若者の成長を目的として、研修生に語りかけ、研修会を進行させました。

研修会には、三浦博之が、第二部(時代)として、若者の成長を目的として、研修生に語りかけ、研修会を進行させました。また、三浦博之が、第二部(時代)として、若者の成長を目的として、研修生に語りかけ、研修会を進行させました。

▲研修会の様子

第19回商工会議所青年部  
**全国会長研修会 久留米会議**

連携YEG実践展開 パーチャルからリアルへ

2002年2月8日(金) 9日(土)

研修会

2002年2月8日(金) 14:00~18:00  
 市民会館大ホール

2月7日(木) 19:00~21:00  
 会場/割増 夢見館/10,000円

**予告**

**こころの発信**  
**Switch on**

2002年2月8日(金) 19:00~21:00  
 会場/夢見館大ホール

2月9日(土) 10:00~11:30  
 会場/新香園ホテル

**久留米**

若き経済人が、夢を語る。仲間の顔が、見えてくる。  
 みんなの思いが、聞こえてくる。「久留米会議」で。

研修会の様子。講師の一人、三浦博之が、若者に語りかけ、研修会を進行させました。

研修会には、三浦博之が、第二部(時代)として、若者の成長を目的として、研修生に語りかけ、研修会を進行させました。

今回は全国の青年部内で話題？の

## 「若手後継者等育成事業」の

レポートをお届けします。

### 恐怖の自己内面分析！

九州ブロック 宮崎県連  
日向・高鍋商工会議所青年部  
写真と文 ● 宮崎県連出内理事 水沼真樹



▲実際に自己内面分析の研修中

重要な自己内面分析及び意識改革をテーマに、研修会を開催した。この本を読んだ方も多いと思うが、本の中心にはメソッドやノウハウが豊富で、その行動パターンと自分を照らし合わせる事で自己の行動パターンや自己の何が出来るようになるか、おのおのの参加者の感想はさまざまだった。こんな研修ではなかったが、この研修を通じて、メンバーが提出した自己内面分析をする機会が少ないメンバーに、こういう研修を受けるたてはないかなと思う。今後こそこういった研修が組織できればと思う。

本年度、宮崎県連では、若手後継者等育成事業(一)の第一として県連をブロックに分け、県北と県南で連携事業を行うこととし、その先陣を切った。平成13年6月18日(日)向陽商工会議所会館において、数回研修の「テキスト」を教材とし、実践の時代を生きるために

### 4単会が力を合わせてイベントを企画運営！

東海ブロック 三重県連  
津・久居・鈴鹿・亀山商工会議所青年部  
写真と文 ● 三重県連出内理事 笠岡 清



▲このイベントで盛り上がる

津・久居・鈴鹿・亀山商工会議所青年部では、平成13年度若手後継者等育成事業(一)の区域連携(地域連携事業)の一環として、津市、地城町商工会議所、中勢北勢サイエンスセンター(技術支援)・旭川の商工会青年部と連携し、行政・民間企業・地域との連携、交流及び地域産業の発展等を目的とした総合イベント「これあいてス(即サイエンス)デー」を開催し、企業・個人・企業として参加し、平成13年5月20日(日)に、津市の新野町(中勢北勢サイエンスセンター)において開催しました。

当日は天候にも恵まれ、11名の出店、企業展へのコーナー、運転教習、ホビーコンテスト、体験試食、フリーマーケット、など、非常に盛り上がった。このイベントは、今後の盛りあ

### 皆さんのご意見お待ちしております。

このコーナーでは、全国の青年部メンバーからのざっくばらんな投稿をお待ちしております。お問い合わせは各県出内理事または商南連ホームページまで!

- 平成13年度 会長・副会長・専務理事挨拶 …… 1
- 委員会・ブロック紹介 …… 2
- アントレプレナーズ委員会紹介 …… 3
- T 全国大会報告 …… 4
- E ブロック大会報告 …… 5
- N 翔生塾 in 韓国 …… 6
- T ヤングリーダー研修 全国会長研修会PR …… 7
- S YEG見聞録北から南から 編集後記 …… 8



▲このイベントで盛り上がる

て楽しんで先にいそいそとメンバーが力を合わせて、おもしろく、と多くの方から大きな声援が寄せられた。また、このイベントを通して、地域の活性化や、地域の発展に貢献したいという思いが、多くの方に共有され、今後の活動に繋がりました。

### 編集後記

今回は、一冊生い立ちが輝かしく、大変な迷惑をお掛けしました。まずは、お詫言ひ申し上げます。  
D.H.H.

今回の編集後記は、メンバーの多くは、仕事で忙しく、なかなか読めず、お詫言ひがなかなか届きません。ただ、この度は、ご迷惑をお掛けしたことをお詫言ひ申し上げます。また、今回のイベントを通じて、地域の活性化や、地域の発展に貢献したいという思いが、多くの方に共有され、今後の活動に繋がりました。

そんな面では、お詫言ひがなかなか届きません。ただ、この度は、ご迷惑をお掛けしたことをお詫言ひ申し上げます。また、今回のイベントを通じて、地域の活性化や、地域の発展に貢献したいという思いが、多くの方に共有され、今後の活動に繋がりました。